

第 2 回岩手県公共交通活性化協議会 盛岡地域部会

資 料 （叩き台）

－ 目 次 －	
1. 岩手県の地域公共交通を取り巻く現状と課題.....	1
1-1 人口動態.....	1
1-2 まちづくり.....	1
1-3 公共交通.....	2
2. 盛岡地域の地域公共交通を取り巻く現状と課題	3
2-1 人口.....	3
2-2 国庫補助・県単独補助対象路線の実態	4
2-3 岩手県上位計画におけるまちづくりの方向性	5
2-4 地域公共交通網形成計画における地域間交通の位置づけ.....	5
2-5 自治体の地域間交通整備の状況（市町村ヒアリング結果（一部抜粋）） ..	5
3. 盛岡地域の将来的な公共交通ネットワーク（イメージ）	6

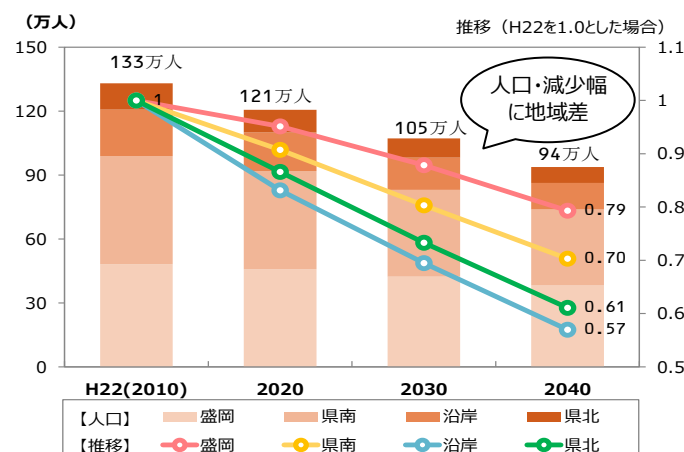
平成 3 0 年 9 月 1 1 日（火）
岩手県政策地域部交通政策室

1. 岩手県の地域公共交通を取り巻く現状と課題

1-1 人口動態

- 本県の人口は平成9年の約142万人※をピークに減少に転じており、平成29年には約125万人※と約17万人減少（平成9年比約1割減）している。
- 将来人口推計では、2040年には94万人まで減少することが見込まれており、特に、県北・沿岸地域では、平成22年の約6割にまで人口が激減（＝需要の減少）することが想定されている。
- 人の流動は、各広域振興局圏内にとどまらず、圏域を超えた流動も多く、これらの移動を支援する地域間交通の形成が必要といえる。

※資料：岩手県毎月人口推計



図：広域振興局別人口の将来推計

資料：日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）

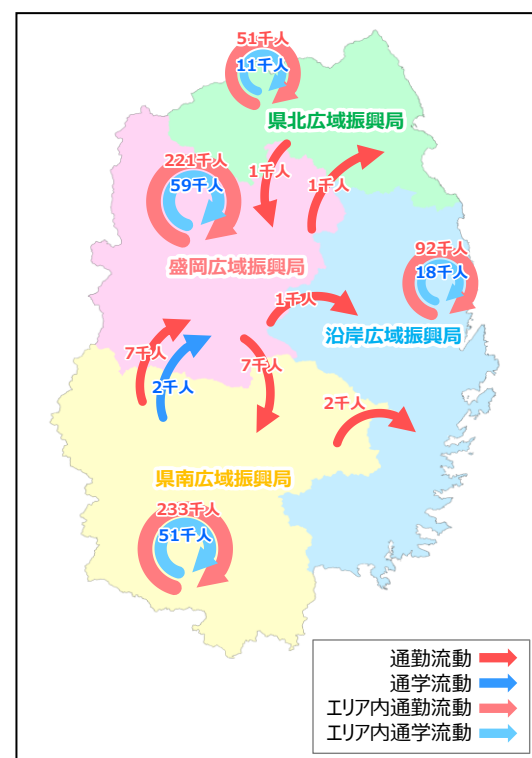
1-2 まちづくり

(1) 交通ネットワーク整備の進展

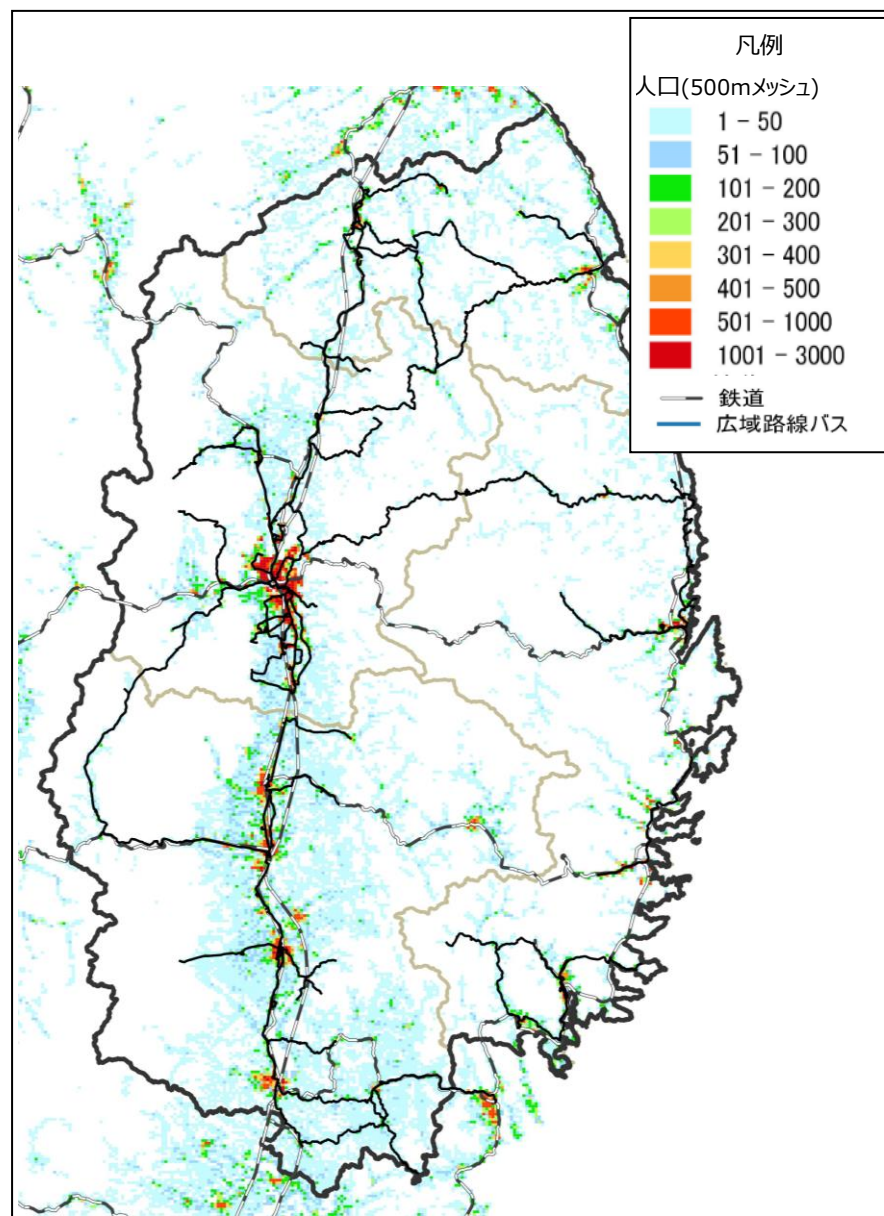
- 東日本大震災津波後、復興道路が平成32年度の開通を目指し整備されていること、また、J R山田線（宮古～釜石間）が平成31年3月23日より三陸鉄道に移管され、一貫運行されることで、広域的な人・ものの動きが激変することが想定される。
- このような交通ネットワークの変化を見据えた地域間交通の形成を検討する必要がある。

(2) 観光振興・国家プロジェクトへの対応

- 本県ではラグビーワールドカップ2019™釜石開催や大船渡港を始めとする港へのクルーズ船の寄港、八幡平地区等の訪日外国人旅行者受入環境の整備といったインバウンド施策、ILCの誘致事業等、国レベルの事業・プロジェクトが動いており、交流人口の拡大・増加が見込まれる。
- 観光振興等各種プロジェクトの事業進捗状況を見据えつつ、それらと連動し、生活交通路線を活用した、交流人口・インバウンド需要にも対応可能な地域間交通の利便性の向上が求められる。



図：広域振興局単位での通勤・通学流動（H27）
資料：国勢調査



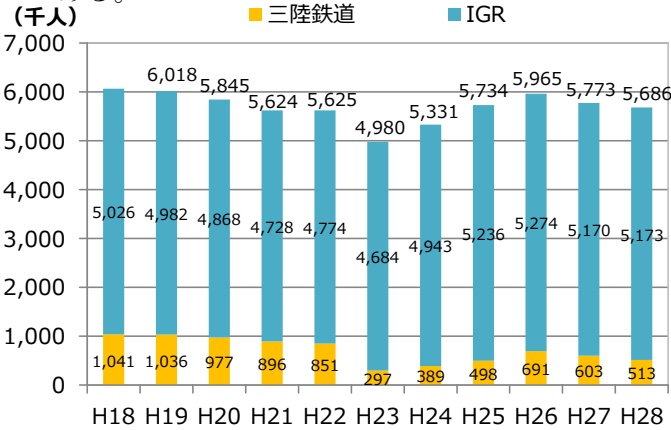
図：人口分布（H27） 資料：地域メッシュ統計



図：まちづくり推進状況

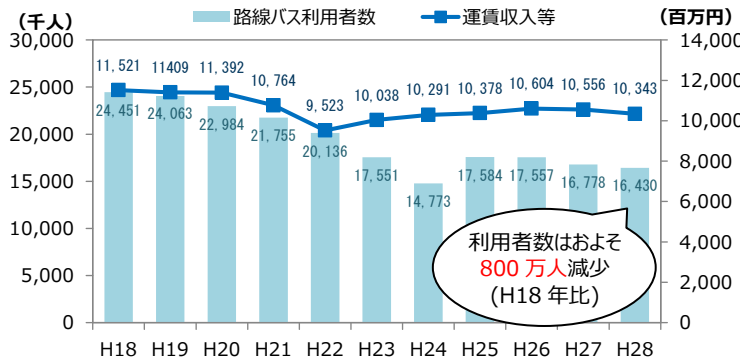
1-3 公共交通

- ・ 本県では、少子化の進展、自動車の普及に伴い、公共交通利用者が減少し、地域公共交通の利用者数及び運賃収入は年々減少している。
- ・ タクシー事業者は、廃業する事業者もあり、平成 30 年 7 月現在 138 社となっている。
- ・ 第三セクター鉄道の平成 28 年度の利用者は、約 570 万人であり、平成 18 年度に比べ約 30 万人減少している。
- ・ また、広域路線バスの平成 28 年度の利用者は約 1,640 万人と、平成 18 年度に比べ約 810 万人減少し、国・県の補助対象要件を満たさない路線が発生している。
- ・ 沿岸地域において震災後に導入された「地域公共交通確保維持改善事業の被災地特例」「特定被災地域公共交通調査事業」は、仮設住宅の集約・廃止に伴い平成 32 年度に終了予定となっており、今後、県・各市町村においては地域公共交通を維持・確保する上での負担が大きくなることが懸念される。
- ・ そのような中、各市町村では「地域公共交通網形成計画」の策定が進められている(策定済み 10 市町村、策定中 7 市町村)。
- ・ 市町村策定の計画には、幹線路線の位置づけはされているものの、自治体単独で具体的な再編・施策を展開することに難しく、地域内公共交通の再編・改善にとどまっている状況にある。



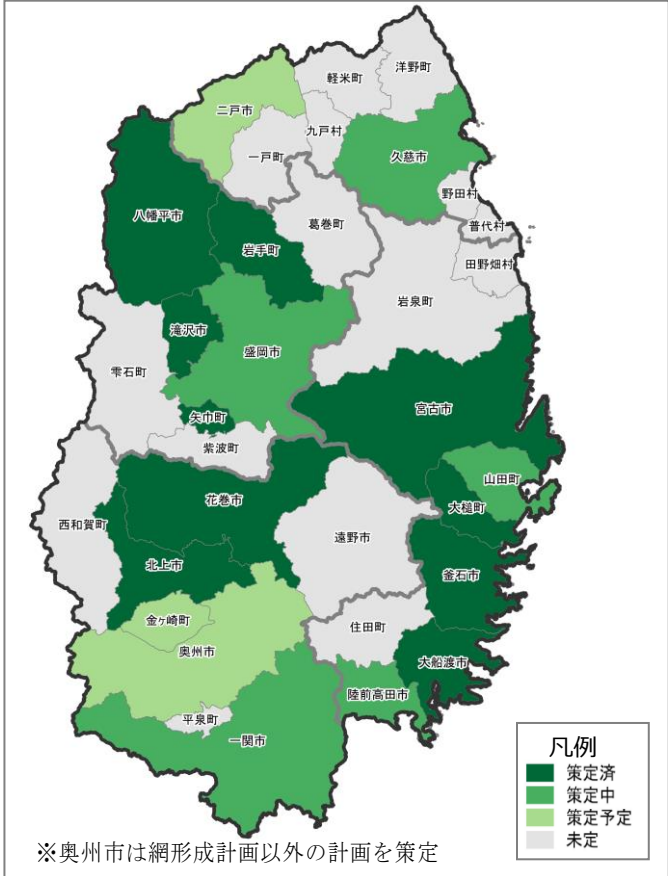
図：三セク鉄道利用者数の推移

資料：岩手県資料



図：路線バス利用者数及び運賃収入の推移

資料：岩手県資料



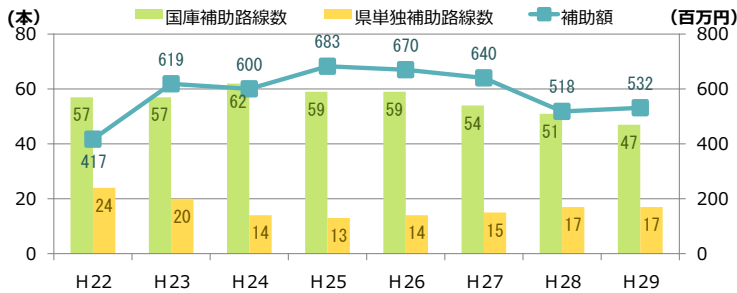
図：地域公共交通網形成計画の策定状況

表：タクシー事業者数 (H30 年 7 月)

	盛岡地域	県南地域	沿岸地域	県北地域	岩手県
タクシー事業者数	32	54	32	20	138

※主たる事務所の所在地で地域分類している

資料：東北運輸局岩手運輸支局資料



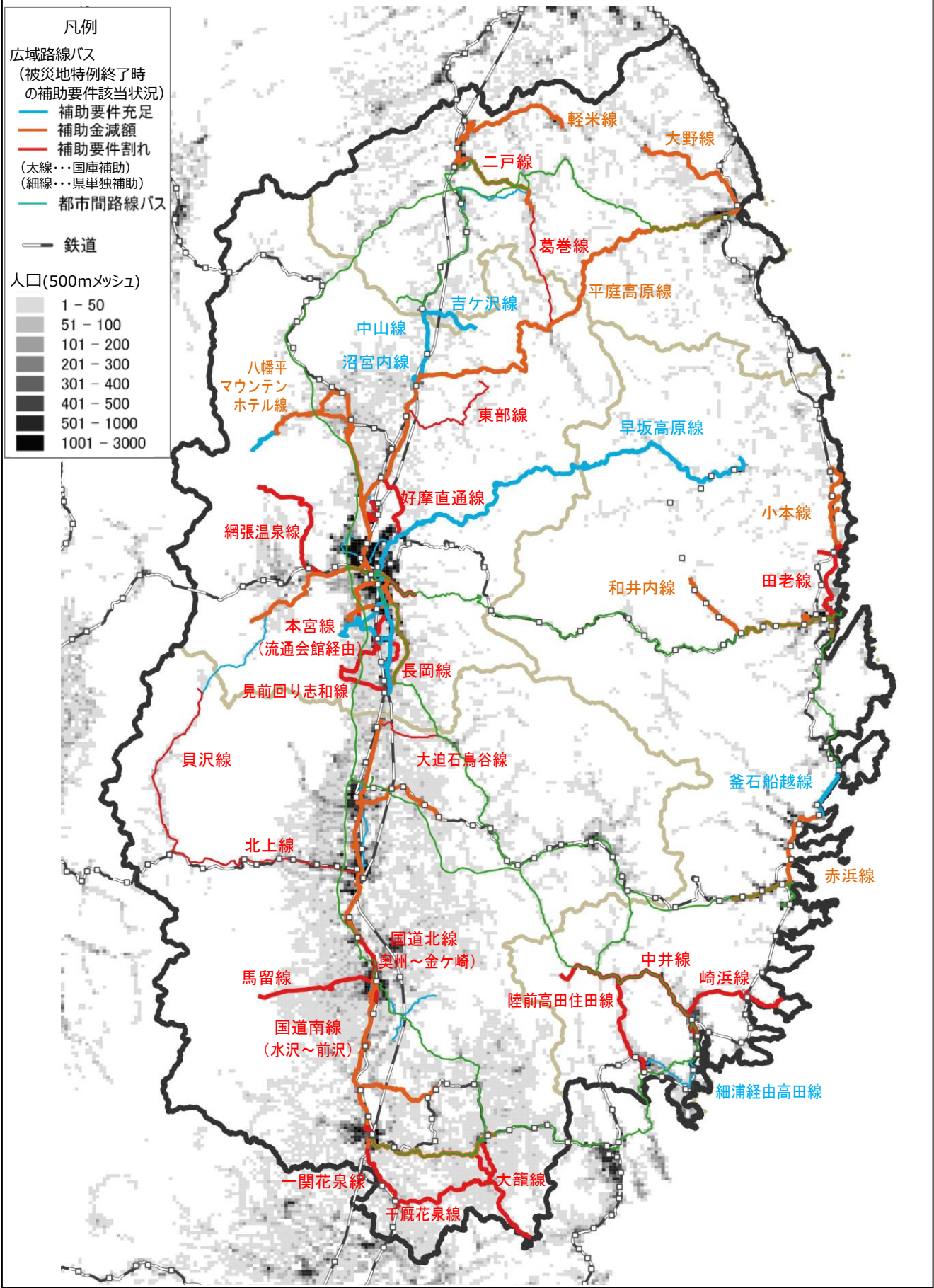
図：補助対象路線(国庫・県単)の路線数と補助額の推移

資料：岩手県資料

表：補助要件の充足状況 (H29 年度)

路線種別	国庫補助路線		県単独補助路線		合計	
補助要件	満たす	満たさない	満たす	満たさない	満たす	満たさない
路線数	47	16	17	9	64	25
補助額(千円)	478,494	107,295	53,136	35,113	531,630	142,408

資料：岩手県資料

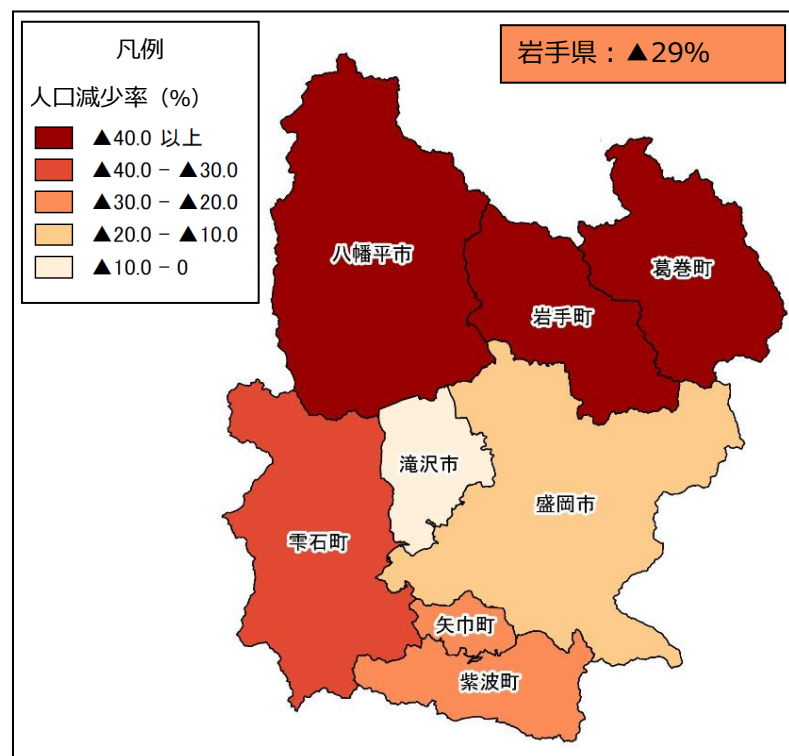


図：地域公共交通ネットワーク(鉄道・広域バス)

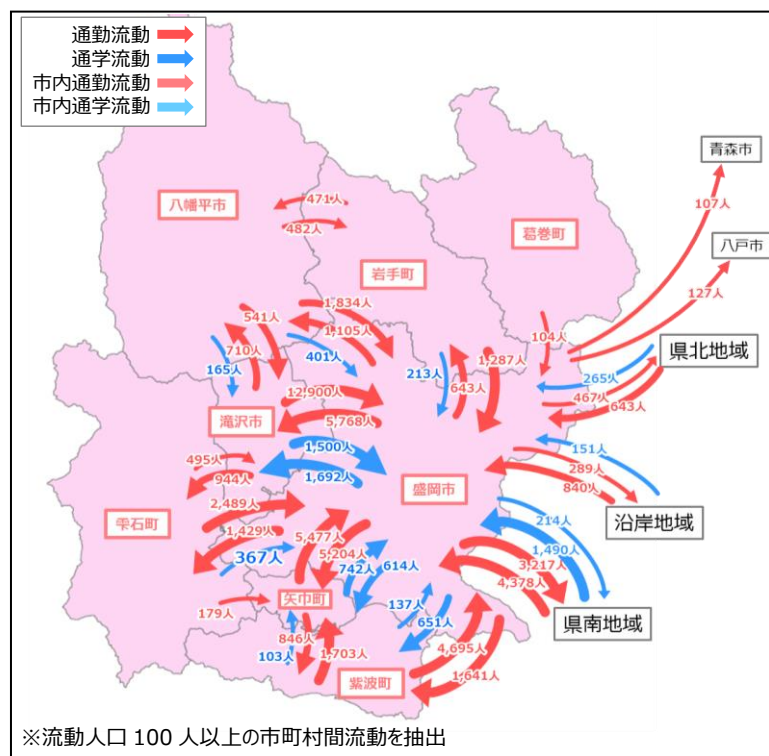
2. 盛岡地域の地域公共交通を取り巻く現状と課題

2-1 人口

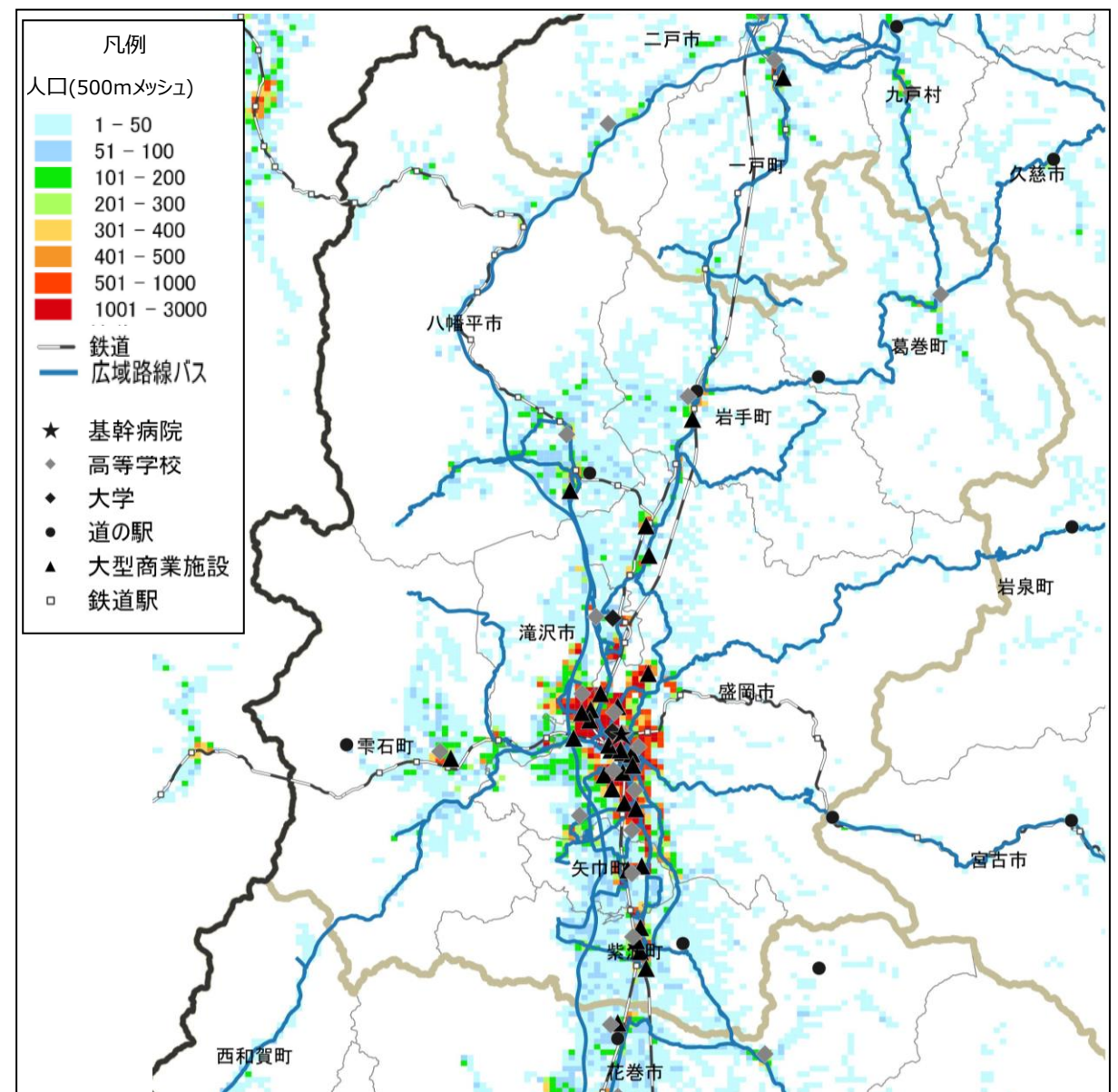
- 盛岡地域の人口は、県庁所在地である盛岡市、隣接する滝沢市及び矢巾町に広く集積している。
- また、基幹病院や高等学校、大型商業施設等の施設が盛岡市に集積しているが、岩手医科大学附属病院が平成31年度に矢巾町へ移転する予定である。
- そのため、盛岡地域の周辺市町村のみならず、県南地域他、県内各地区からも通勤・通学者の移動がみられ、移動を支援する地域間交通の形成が必要といえる。
- 将来人口推計によると、H22（2010）年から2040年の人口減少率は、八幡平市、岩手町、葛巻町で40%以上と、今後30年間で大幅に減少すると予測されている。



図：人口減少率（(2040-H22)/H22）
資料：日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）



図：通勤・通学流動（H27）
資料：国勢調査



図：人口分布（H27）
資料：地域メッシュ統計

2-2 国庫補助・県単独補助対象路線の実態

- 平成 29 年度の盛岡地域の国庫補助対象路線は 22 路線、県単独補助対象路線は 9 路線である。
- このうち、国庫補助対象路線の 6 路線（岩手県立大学線（滝沢駅着）、岩手県立大学（盛岡農高経由）、好摩直通線、見前回り志和線、網張温泉線、本宮線（流通会館経由））、県単独補助路線の 5 路線（東部 A 線、東部 B・D 線、葛巻線、東部 C 線、長岡線）は、激変緩和措置の終了に伴い、補助の要件を満たさなくなる。
※東部線 A～D は、平成 29 年 10 月に統合し、東部線となっている。
- また、国庫補助対象路線 13 路線は、平均乗車密度が 5 人以下であるため、補助金が減額されている。

表：被災地特例終了後の補助要件充足状況 (H29 年度)

地域	路線種別	国庫補助路線		県単独補助路線		合計	
	補助要件	満たす	満たさない	満たす	満たさない	満たす	満たさない
盛岡地域	路線数	16 (34%)	6 (38%)	4 (24%)	5 (56%)	20 (31%)	11 (44%)
	補助額(千円)	213,718 (45%)	19,196 (18%)	11,034 (21%)	17,115 (49%)	224,752 (42%)	36,311 (25%)
岩手県	路線数	47	16	17	9	64	25
	補助額(千円)	478,494	107,295	53,136	35,113	531,630	142,408

() 内は、岩手県に占める割合

資料：岩手県資料

■国庫補助路線の状況

路線名	平均乗車密度(人)	輸送量(人)	経常費用(千円)	経常収益(千円)	欠損額(千円)	補助金額(千円)	被災地特例終了時の補助要件の充足状況	事業者
岩手県立大学（滝沢駅着）※	1.7	6.1	11,973	3,917	8,056	570	満たさない	岩手県北自動車
岩手県立大学（盛岡農高経由）※	1.9	6.4	10,280	3,842	6,438	132	満たさない	岩手県北自動車
好摩直通	5.1	11.7	12,078	10,511	1,567	1,813	満たさない	岩手県交通
見前回り志和	3.6	9.3	18,693	9,811	8,882	4,730	満たさない	岩手県交通
網張温泉	3.7	14.4	28,618	16,963	11,654	8,642	満たさない	岩手県交通
本宮（流通会館経由）	2.9	14.7	14,879	9,161	5,718	3,309	満たさない	岩手県交通
南インター川久保	3.0	22.8	24,996	15,131	9,865	5,439	満たす（補助金減額）	岩手県交通
本宮（湯沢団地経由）	3.3	23.4	21,226	14,526	6,699	2,121	満たす（補助金減額）	岩手県交通
長岡（盛岡駅前発）	3.9	26.9	36,507	25,190	11,317	4,967	満たす（補助金減額）	岩手県交通
平館駅前	4.4	15.4	22,026	12,931	9,095	7,068	満たす（補助金減額）	岩手県北自動車
八幡平マウンテンホテル（大更駅経由）	4.4	22.0	49,502	24,810	24,692	23,511	満たす（補助金減額）	岩手県北自動車
繁菅宿	4.4	28.1	35,098	26,846	8,252	6,979	満たす（補助金減額）	岩手県交通
八幡平マウンテンホテル（東八病院経由）	4.6	29.9	57,035	32,223	24,812	25,031	満たす（補助金減額）	岩手県北自動車
平庭高原	4.7	23.5	147,934	57,057	90,877	59,306	満たす（補助金減額）	ジェイアールバス東北
北高田	5.1	15.3	13,757	13,598	159	1,164	満たす	岩手県交通
大更駅前	5.1	15.8	17,328	12,600	4,729	3,284	満たす	岩手県北自動車
矢巾温泉	5.3	15.3	10,969	11,282	-313	1,832	満たす	岩手県交通
松川温泉	5.3	15.9	29,837	18,375	11,462	12,095	満たす	岩手県北自動車
沼宮内（産業文化センター経由）	5.3	23.3	32,761	21,756	11,005	12,830	満たす	岩手県北自動車
日詰（盛岡駅前発）	5.3	69.9	56,986	57,145	-159	7,200	満たす	岩手県交通
早坂高原	5.5	22.0	90,811	47,852	42,959	29,038	満たす	ジェイアールバス東北
沼宮内	5.7	30.7	39,209	27,661	11,548	11,853	満たす	岩手県北自動車

■県単独補助路線の状況

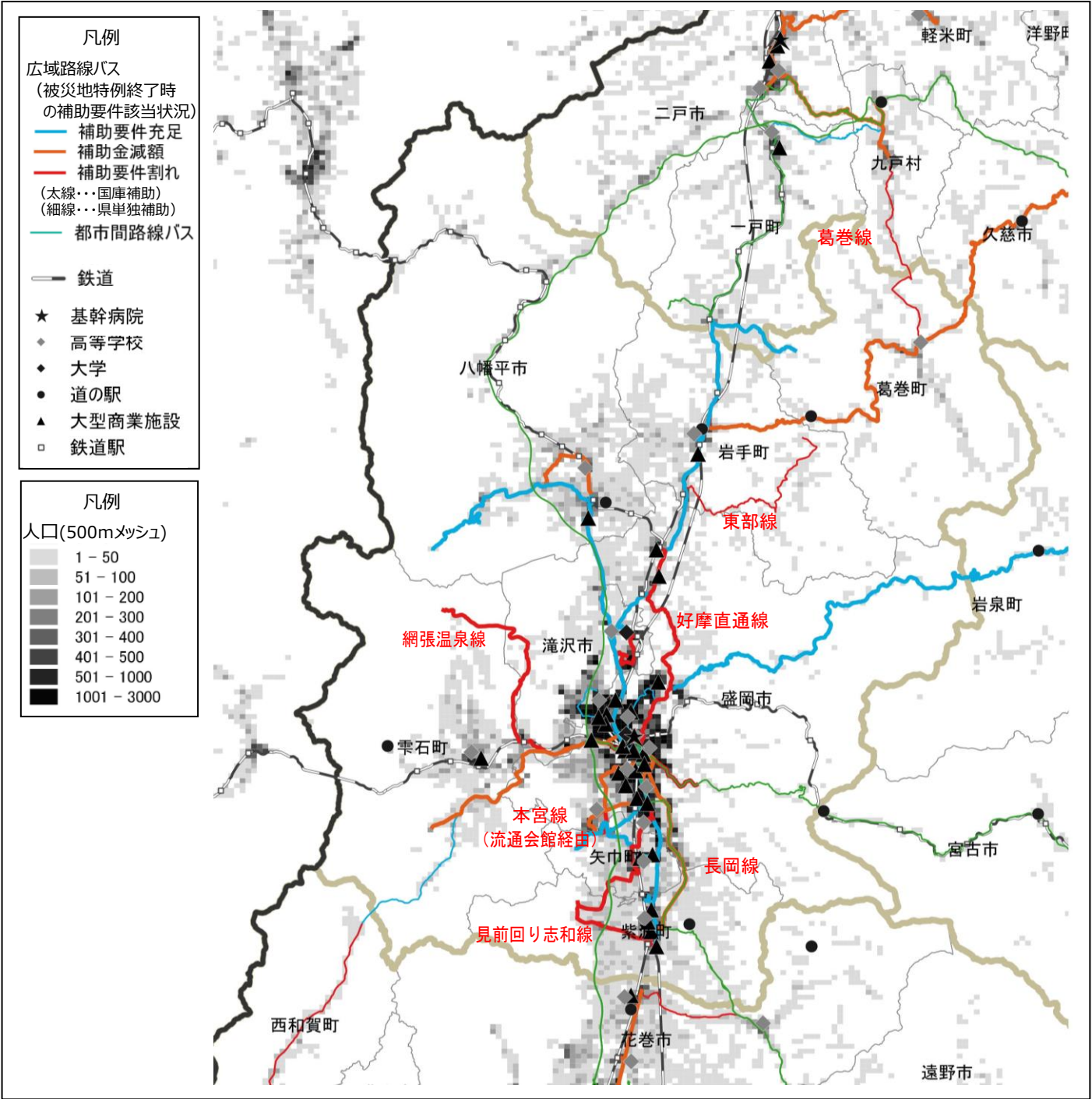
路線名	平均乗車密度(人)	輸送量(人)	経常費用(千円)	経常収益(千円)	欠損額(千円)	補助金額(千円)	被災地特例終了時の補助要件の充足状況	事業者
東部 A ※1	0.6	0.6	3,857	362	3,494	3,492	満たさない	岩手県北自動車
東部 B・D ※1	1.0	2.0	9,016	1,229	7,787	4,498	満たさない	岩手県北自動車
葛巻	1.2	3.6	10,749	1,788	8,961	4,498	満たさない	岩手県北自動車
東部 C ※1	3.1	3.1	4,839	1,836	3,003	3,002	満たさない	岩手県北自動車
長岡 ※2	3.4	3.4	3,964	2,337	1,627	1,625	満たさない	岩手県交通
青山松園	4.0	8.0	3,270	2,983	287	285	満たす	岩手県交通
吉ヶ沢	4.0	12.0	11,260	6,334	4,925	4,500	満たす	岩手県北自動車
中山	4.0	10.0	5,727	3,977	1,750	1,749	満たす	岩手県北自動車
山伏	5.3	5.3	14,499	8,104	6,395	4,500	満たす	岩手県交通

青字：補助要件充足 橙字：補助金減額 赤字：補助要件割れ

※1 平成 29 年 10 月東部線として統合

※2 平成 29 年 12 月補助対象外

資料：岩手県資料



図：国・県補助対象路線

2-3 岩手県上位計画におけるまちづくりの方向性

- 「岩手県次期総合計画（中間案）」において、県央広域振興圏には、暮らしに関わるサービスを提供するための都市機能が集積していることから、都市と農山村が広域的に連携し合い、快適で健やかに暮らせる地域社会の形成を地域振興の基本的考え方としている。
- なお、盛岡圏域の拠点（地方中核都市の拠点）として、盛岡市が位置づけられている。

表：岩手県次期総合計画（中間案）における基本目標と地域振興の基本的な考え方

基本目標	東日本大震災津波の経験に基づき、引き続き 復興に取り組みながら、お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて
■ 県央広域振興圏の基本的考え方（抜粋）	
・ 暮らしに関わるサービスを提供するための都市機能が集積 していることから、都市と自然豊かな農山村が 広域的に連携 し合いながら、北東北の拠点にふさわしいまちづくりを進め、一人ひとりが快適で健やかに暮らせる地域社会をつくる。	

資料：岩手県次期総合計画（中間案）－長期ビジョン－（H30.6）

■ 県央広域振興圏

将来都市構造		
内容		対象
都市の拠点など	地方中核都市の拠点	盛岡
	地方中核都市の副拠点	矢巾、滝沢、玉山
	都市の拠点	紫波、岩手、雫石、西根
	地域拠点	葛巻、安代、松尾
都市間交流基盤	道路	東北縦貫自動車道 宮古盛岡横断道路 盛岡秋田道路 幹線道路（国道、一部の主要地方道）
	鉄道	東北新幹線、秋田新幹線（田沢湖線） JR東北本線、JR山田線 JR花輪線、IGRいわて銀河鉄道線
環境保全・レクリエーションゾーン		十和田・八幡平国立公園 外山・早坂高原県立自然公園 久慈・平庭県立自然公園 御所湖広域公園

2-4 地域公共交通網形成計画における地域間交通の位置づけ

- 盛岡地域で地域公共交通網形成計画を策定している市町村は八幡平市、滝沢市、矢巾町、岩手町である。盛岡市は、計画策定中である。
- なお、地域公共交通網形成計画に記載されている広域交通の位置付けは、右表に記すとおりであり、鉄道や高速バス、複数市町村間を連絡する路線バスが広域交通に位置づけられている。

2-5 自治体の地域間交通整備の状況（市町村ヒアリング結果（一部抜粋））

- 県が実施した自治体ヒアリングによると、被災地特例終了に伴い、補助要件を満たさなくなることが予想される広域バス路線のうち、葛巻線や見前回り志和線、長岡線が通院・通学に利用されており、何らかの形で維持が不可欠な路線といえる。また、見前回り志和線は、矢巾町と紫波町の幹線路線としての維持要望もあげられている。
- 地域間交通相互、地域間交通と地域内交通との接続拠点は、鉄道駅、バスターミナル、道の駅、まちの駅など、日常生活において住民の利用が多い施設や、まちの拠点となる施設が位置付けられている。また、岩手医科大学附属病院の移転により、地域公共交通のルートなどに大きな影響があると考えられる。

表：広域バス路線の利用状況、整備状況など

市町村	計画策定状況	鉄道	広域路線バス	接続拠点	市町村	計画策定状況	鉄道	広域路線バス	接続拠点		
盛岡市	策定中	■東北新幹線 ■秋田新幹線 ■JR東北本線 ■JR田沢湖線 ■JR山田線（盛岡～宮古） ■IGR	■ 好摩直通線（国） ・玉山中学校入口バス停で乗り換えられる連絡バス利用者が利用。 ■ 網張温泉線（国） ■ 繁鶯宿線（国） ■ 見前回り志和線（国） ■ 日詰線（国） ■ 長岡線（国） ■ 本宮線・流通会館経由（国） ■ 本宮線・湯沢団地経由（国） ■ 北高田線（国） ■ 南インター川久保線（国） ■ 矢巾温泉線（国） ■ 沼宮内線（国） ■ 沼宮内線・産業文化センター経由（国） ■ 平館駅前線（国） ■ 八幡平マウンテンホテル線・東八病院経由（国） ■ 八幡平マウンテンホテル線・大更駅経由（国） ■ 松川温泉線（国） ■ 大更駅前線（国） ■ 早坂高原線（国） ■ 平庭高原線（国） ■ 青山松園線（県） ■ 山伏線（県） ■ 東部線（県） ・移転後の岩手医大や矢巾駅に向かうバスは、今後調整が必要。	■鉄道駅 ■バスセンター ■松園バスターミナル ■田沢湖線新駅（将来）	雫石町	未策定	■秋田新幹線 ■JR田沢湖線	■ 網張温泉線（国） ・小岩井から網張間の利用者が少ない。 ・看護短大生が通学に利用。ただし、岩手医大移転に併せて看護短大も移転するため、その場合はさらに利用者が減少する。 ・冬季は、ペンションやスキー場への利用がある。 ■ 繁鶯宿線（国） ・繁から鶯宿間の利用者が非常に少ない。 ・繁鶯温泉病院へのアクセスとなるバス路線だが、病院が送迎バスを運行している。 ■ 山伏線（県）	■雫石駅 ■小岩井駅（可能性あり）		
		矢巾町	策定済（H30.1）	■JR東北本線			■ 見前回り志和線（国） ・旧不動村中心地を運行するため維持したい。 ■ 矢巾温泉線（国） ・矢巾温泉は町内唯一の観光地のため維持したい。 ■ 日詰線（国） ■ 本宮線（国） ■ 本宮線・流通会館経由（国） ■ 北高田線（国） ■ 南インター川久保線（国）	■矢巾駅			
		紫波町	未策定	■JR東北本線			■ 見前回り志和線（国） ・ラ・フランス温泉館と繋がるため維持したい。 ■ 日詰線（国） ■ 長岡線（国） ・広域路線バス利用者は、盛岡日赤病院や岩手医科大学附属病院への通院利用が多い。	■日詰駅			
八幡平市	策定済（H28.3）	■JR花輪線 ★地域公共交通網形成計画において、鉄道が広域交通に位置付けられている。	■ 平館駅前線（国） ■ 八幡平マウンテンホテル線・東八病院経由（国） ■ 八幡平マウンテンホテル線・大更駅経由（国） ■ 松川温泉線（国） ■ 大更駅前線（国） ★地域公共交通網形成計画において、高速バスが広域交通に位置付けられている。	■安代テントラック ■田山パークングエリア ■岩手山サービスエリア ★地域公共交通網形成計画において、上記3箇所が広域交通への乗り継ぎ拠点に位置付けられている。	岩手町	策定済（H29.4）	■東北新幹線 ■IGR ・盛岡方面への通学利用	■ 沼宮内線（国） ■ 沼宮内線・産業文化センター経由（国） ■ 平庭高原線（国） ■ 吉ヶ沢線（県） ■ 中山線（県） ■ 東部線（県） ★地域公共交通網形成計画において、上記路線が、町の骨格としての役割を担う幹線交通に位置付けられている。	■沼宮内駅 ■道の駅 ■街の駅		
滝沢市	策定済（H29.9）	■JR田沢湖線 ■IGR ★地域公共交通網形成計画において、鉄道（新幹線除く）が広域幹線交通に位置付けられている。	■ 八幡平マウンテンホテル線・東八病院経由（国） ■ 八幡平マウンテンホテル線・大更駅経由（国） ■ 松川温泉線（国） ■ 大更駅前線（国） ■ 平館駅前線（国） ・八幡平方面の上記4路線は、一本木地区住民の重要路線。 ■ 網張温泉線（国） ・小岩井農場～網張温泉間の短縮を検討中。 ・看護短大が撤退予定のため、利用者減が懸念。 ■ 繁鶯宿線（国） ■ 沼宮内線（国） ■ 沼宮内線・産業文化センター経由（国） ■ 平庭高原線（国） ■ 青山松園線（県） ■ 山伏線（県） ★地域公共交通網形成計画において、複数市町村間を連絡する路線バスが、幹線路線に位置付けられている。	■市役所・ビッグルーフ ■ふるさと交流館 ■菓子駅 ・上記3箇所が接続拠点 ■青山駅 ・市内ではないが、重要な広域接続拠点として位置づけられている。			葛巻町	未策定	－	■ 葛巻線（県） ・九戸から葛巻への買物・通院、葛巻高校への通学路線。 ■ 平庭高原線（国） ■ 吉ヶ沢線（県）	■まちの駅くずまき

青字：補助要件充足

橙字：補助金減額

赤字：補助要件割れ

3. 盛岡地域の将来的な公共交通ネットワーク（イメージ）

- ・ 既存資料・データから見る本県の地域公共交通を取り巻く現状と課題を踏まえて、盛岡地域における将来的な公共交通ネットワークの方向性は以下に示すとおりである。
- ・ 今後、各市町村の上位関連計画における「地域公共交通（特に地域間幹線）」の位置づけ・役割」、交通事業者が所有している「路線バス運送実績データ分析」、本業務で実施予定となっている各調査結果を基に、下記方向性をブラッシュアップしていく予定である。

